

一般質問

十二月定例会では、九人から一般質問が行われました。(質問順に掲載)

どうする議員の選挙



平田 昇議員

赤字経営をどうする

平田議員 赤字経営の「滝の宿」と「あびくる館」を、新町で引き継いでほしいという声の一方で、旅館業者からは苦しいという声も出ている。これにどう対応するのか。

現段階では言えない

町長 現在、協議中であり、他町のことについての回答は、控えさせてほしい。

合併の進め方を疑う

平田議員 先ず合併。本町の町づくりは、それから先のこと。この町長の

考えを疑う。今は、新しい町「さつたま町」に向かう船を準備中なのだ。それに乗り合わず各町から、勝手な言い分が出てくる。それに対して町長は、「イエスマン」になっている。一体感・協力を生み出すには、まず指導者が互いに、なぜ合併かを理解する。そして、これまでの町民意識を捨てて、新

しい町づくりのために協力する心を持つ。このソフト面が、心が欠ける。今の進み方でいいのか。

合併を契機に町づくりを目指す

町長 三町の一体感のうえに、合併が成り立つ。私はこれは逆だと思ふ。合併して、心をひとつに

していく。これが合併であり、私に与えられた使命だと思ふ。合併を契機に、本当の一体感を持つたすばらしい町をつくりたいと思ふ。

補助事業のあり方は

平田議員 補助事業で設置されたピニールハウスの遊休化が、随所で見受けられる。また、補助で浄化槽を設置された方のなかに、設置後の管理費用に苦勞されているという話も聞く。事前の当人の意欲・体力・資金等の調査と事業実施後のフォロー、指導等が欠けているのではないか。

調査後に

活用を図りたい

町長 農協管内全体の取り組みで、遊休ハウスの有無、その活用等について調査中である。遊休施設の活用に取り組みたい。

平田 昇議員 合併してすぐ、町長・議員の同日選挙をといる町民の声に、どう応えるか。

三町間の

調整に努める

北村町長 町内には、同日選挙をといる声が強いている。合併は相手のあることであり、町内の意見を含めて望ましい方向に調整したい。



3町議会議員への合併調査説明会（鶴田町）